

OUR SPORTS 東京

新日本スポーツ連盟東京都連盟機関紙

〒 170-0013 豊島区東池袋 2-39-2
大住ビル 401

TEL: 03-3981-1345 FAX: 03-3981-8315

E-mail njsf@tokyo.email.ne.jp

3月号 2010年3月1日

発行責任者：都連盟理事長 萩原 純一

選手に愛され、広がるクラブの輪

板橋・レディースバレーボール (家庭婦人) オープンリーグ大会

ネットが6人制より低い(205cm)、サーブも一度失敗してもやり直せるなど、初心者でも比較的やりやすいルールの「家庭婦人バレーボール」。これを板橋区連盟では既存のものとは違うという意味を込めて、「レディースバレーボール」と名付けています。他とは一味違うルールや運営の仕方でも人気を集めています。板橋だけでなく都内各地から参加者が集まるこの大会の人気の理由はどこにあるのでしょうか？大会にお邪魔させていただいて、お話を伺いました。



「まるで私たちのための大会」

当日は12チームの参加があり、会場の赤塚体育館にはたくさんの選手の方達が試合を楽しんでいました。その中で、今年度の途中から参加している「FVC」のキャプテン・小林さんからお話を聞くことが出来ました。「FVC」は中学校のPTAでバレーボールを始めた事をきっかけに結成したクラブです。

「当時、中学校に女子バレーボール部がなく、女子生徒たちから、私たちがやってみようという声があがりました。それなら自分たちが教えてあげようとバレーボール教室を開きました。そして練習を重ね、だいぶ上達してきたので子供たちと一緒に試合に出たいと思うようになりました。」

世代の違いを超えて

しかし、一般的な家庭婦人バレーボールの大会では子供たちは参加できず、諦めかけていた時に友人からこの大会のことを聞きました。「ここは中学生以上ならば、3人まで登録できる(コート内には2人)ので子供たちと一緒に試



お子さんを連れた若いママさんも大勢参加。子供たちも楽しそうです

合に出たいという願いが叶いました。まるで、私たちのためにある大会だと思いました。試合経験が少ない事が少し不安でしたが、自分たちに合ったレベルのチームと試合が出来るのも魅力です。最近は勝負を楽しめるようになってきました。子供たちも、ますます面白くなったようで、進学後もバレーボールを続けているようです。」

今年度は途中からの参加だったため、まだ加盟はしていませんが、来年度は加盟して年間通じて参加しようと張り切っています。

「板橋レディースバレーボール (家庭婦人)」は ココがイイ!

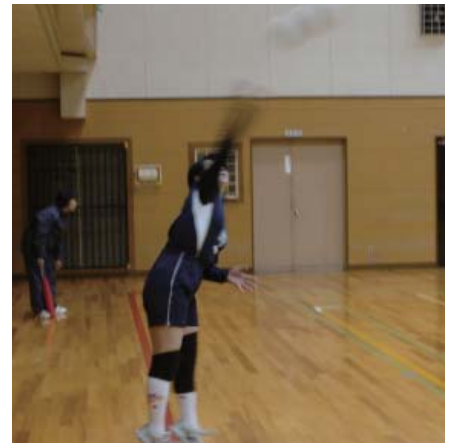


左から、「中丸」の大森 澄江さん、庄子 美奈子さん、
「work」の菊池 三枝子さん
※「中丸」はチームとして、菊池さんは選手として第1回目から参加されています

菊池：他の区の様々なチームと交流できるのがイイです。板橋区の他に7つの区からおよそ30のチームが加盟しています。そして、「婦人」ではなくても参加できるので、家族間の交流も楽しめます。親子で参加される方もいます。また、私たちのチームは「work」という名の通り、全員が働いているので、土日で開催されるのは非常に助かります。

庄子：年度の初めに参加チームで集まって試合の日程、ルール改正などについて話し合っています。そこで、どうやったら私たちが楽しめる大会にできるかを、みんなで話し合ってきました。その結果、他の既存の大会とは違う「私たちの大会」だと感じられるようになっています。だからこそ、当日の試合運営も選手自身が中心になり行っています。

大森：小さな子供がいても、仲間が面倒を見てくれたり、役員の方が協力してくれたり、参加しやすいように配慮されていることがイイですね。試合数がしっかり確保されているのも助かります。私たちは世田谷区のチームなんですが、地元ではここまで確保するのは大変です。



選手の要求を聞き、良い大会をつくることで参加者の輪が周りに広がっていく

15年ほど前に板橋区連盟では、より多くの種目を組織して活動の幅を広げようとしていました。その運動のなかで、年間で3回程度開催するオープン試合から板橋レディースバレーボールの歴史は始まりました。他の大会は平日に開催しているところが多く、休日に試合が出来るという事も好評でした。口コミで参加チームが広がり、現在のようなりーグ戦に発展しました。

大人から子供まで、「要求」に応える

板橋区連盟理事の新井正一さんは「選手の思いや要求をよく聞き、一緒に実現する事を大事にしてきました」とこの間の運営を振り返りました。試合の前に行われるキャプテン会議では既存の方式にとらわれず、運営や競技規則について様々なことを議論をしています。年齢制限の緩和というルールも3世代が一緒にできるようにと、この会議のなかでうまれました。このことによって、先に紹介した「FVC」

の子供たちのように、学校に部活がなく、周りに同年代の仲間がいなくても地域の大人と組んでバレーボールを楽しむことが出来るようになったのです。

選手の事を一番に考えて

「納得してもらうまで懇切丁寧に説明する事も非常に大事です。」とさらに新井さんは付け加えます。たとえ選手の側からの要望でも、他の全てのチームの方たちに確認をとってから事を進めるそうです。この点を大事にすることによって、全ての参加チームが運営に意識的に参加する今のスタイルがつけられていったとのこと。さらに、口コミで周りに広げることに積極的になれると言います。どんな問題も選手の立場で考え、選手に理解してもらい、選手と一緒に運営していくことが、組織化を進めるうえで何よりも大事なのだということでした。

(編集委員・渡辺)

東京都連盟 NEWS

デビュー戦に立ち会えた喜び

「杉並スポーツ祭典ジュニア卓球大会」

2010年1月7日(木)に荻窪体育館で今年度2回目のジュニア大会を開きました。

参加者は高校生が20名、小中学生が45名で夏より少ない大会でした。そこでたくさんの試合ができるように、6~7名のリーグ後、1,2位の同順位トーナメントの形式をとりました。そのほかに、この大会がはじめてのデビュー戦または試合経験の少ない10名の小学生の部をつくりました。高校生は、優勝増田優人さん(つつじヶ丘SS)2位三浦洋樹さん(ナミーズ)3位高倉孝廣さん(稲荷木ジュニア)で常連でした。小中学生の部では埼玉から初参加の永井里奈さん(親球会)と小川七菜子さん(植水ジュニア卓球クラブ)の決勝戦はレベルが高く永井さんが優勝しました。

デビューの部では、空振りして不安そうにお母さんの顔を覗く表情や、得点してうれしそうな様子はどれも初々しいものでした。試合のあと、周りの人にうながされて握手するのは照れくさそうでしたが、この日のことを忘れないでほしいと思います。また、いつまでも卓球を続けて好きでいてほしい、勝敗だけにこだわらず、スポーツをする喜びをみつけてほしいと願いました。(杉並卓球協・小林 章子)



飛び込みを楽しく練習

「2010年水泳技術指導会」

1月10日、霞ヶ丘水泳場において2010年水泳技術指導会が行われました。参加された東京水泳協の平井桃代さんの感想文を紹介します。

(以上、編集委員渡辺)

日本泳法の飛び込みの技の1つに翡翠(ショウビン)という型があります。翡翠とは1点めがけて素早く入水するカワセミのことです。美しくスマートなカワセミの飛び込む姿を目指して1月10日の霞ヶ丘水泳場での講習会に参加しました。

高いところからの不安を和らげるため水中に台を2段重ねます。その台に足の指全体で角をつかむようにして(①頭上に伸ばした両手で耳を挟む、②膝を軽く曲げる、③手先は親指を内側にして水面スレスレの位置におく)という姿勢が出来たら頭・腰・足先の順に入水します同じ動作を何度も繰り返し自信がついたら台が1段高いところ→プールサイド→スタート台へと移動しました。

参加者57名が流れるように次々と「飛び込みは楽しいっ!」という表情で講習時間は過ぎました。初心者でも不安をあまり感じることなく楽しめる飛び込み練習であると思いました。いつの日かカワセミのような飛び込みをする自分の姿を夢見て練習を続けています。

即席チームでも勝利に向け、一致団結

「中野ニューイヤーテニス交流会」

新年早々の1月10日(日)に哲学堂テニスコートで開催されたニューイヤーテニス交流会には男女36名の参加で行われました。この大会は男女各3名で1チームを作り、男子、女子、混合ダブルスを組合せて試合を行います。

今回は50名以上の申し込みがあり、毎回大変人気があります。人気の秘訣は、必ず1日5試合が保障され、大会本部がチームを編成し普段一緒にやらない方たちと試合が出来ることです。たいてい、2試合目の頃には自チーム

が勝てば共に喜び、負ければ声をかけて励ましあう仲間同士になっています。

男性のTさんは、4試合目までは勝つことができませんでしたが、チームの仲間のアドバイスも受けて、最後の5試合目の混合ダブルスを接戦で勝利し、Tさんだけでなく、チーム全員で大喜びしました。Tさんからは、チームの方や大会役員の方にお礼があり、中野区連盟のテニス教室に今年も通い、来年の大会にも参加したいと語っていました。(中野テニス協 市野沢 稔巳)

カワセミに導かれ落合川源流を目指す

「東久留米七福神めぐりウォーキング」

年の初めの1月17日に東久留米の七福神をめぐり、今年の安全と賑わいを祈願しました。西武線・東久留米駅を27名で10時に出発しました。七福神は多国籍の神々だそうです。茅の木で有名な浄牧院、宝泉寺を参拝し、自然豊かな二つの川のうち、最初は黒目川を遡上しました。大円寺近くの公園で昼食をとりました。いつもの事ながら頂き物でお腹はパンパン、体重も減より増になりそうです。川沿いは鳥、魚や木々の出迎えが嬉しいものです。

今回は特に貴重な体験をしました。カワセミが道案内をしてくれたのです。いつもはひとつ飛びに飛び去るカワセミが私達の歩みに合わせ、枝から枝へと伝い飛びをして楽しませてくれました。落合川では源流のひとつである南沢緑地・竹林公園の湧水に時を忘れさせてもらい、米津寺・多聞寺も参拝しました。最後は駅近くの居酒屋で何回も新年を祝い乾杯し次回を約束しました。(東京ウォーキングクラブ運営委員・藪田和久)



白熱した試合の連続にギャラリーも興奮!
「スポーツ連盟練馬冬季バドミントン大会」

2009年度最後の行事として、1月17日に練馬区立光が丘体育館にて開催した本大会は、遠くは長野県から165ペア330人のバドミントン愛好者が集まり、1月の寒さを感じさせない熱戦が繰り広げられました。

意地の激突

本大会は1～4部にクラス分けしており、上級者の部である1部には東京都やその近県を代表する選手が多数出場し、全国大会さながらのハイレベルな試合の連続でした。

抽選結果に一喜一憂

新年最初の大会ということで、第一回より参加者全員にプレゼントが当たるお年玉抽選会を実施しております。抽選スペースでは大会のもう一つの楽しみとして盛り上がりを見せていました。

今後に向けて

大成功で2009年度最後の行事を終えることが出来たのは、来年度への大きな弾みになると思います。また、都内でも有数な規模の大会を練馬で開催できていることは、バドミントンの競技レベル向上に少なからず貢献していると感じて今後も邁進していきたいと思っています。

(練馬バドミントン協議会 櫻井 匠)

ビギナーズ・スノーボード部を新設備
「第34回東京スキー競技会」

第34回東京スキー競技大会は2月5日(前日練習)～7日の日程で例年どおりセントレジャー舞子スノーリゾートにて、スキー場、スキー学校、観光協会、クラブスポーツなどの協力を頂いて開催されました。

土曜日は最大瞬間風速32mを超える猛吹雪の中での競技となり、2本の予定を1本だけにせざるを得ませんでした。

今大会は、参加者を増やす為の試み

として「ビギナーズクラス女子・男子」と「スノーボード」クラスを新設しました。ビギナーズクラスに6人のエントリーとスノーボードクラスには2人のエントリーがありました。来年はもう少し増えてもらえると思います。

競技は100分の1秒を争う激戦、1日目と2日目でトップの順位が入れ替わるという好勝負。セッターの安部さん(舞子スキースクール)から「年々レベルが上がっている。前走で数人の選手に負けた。来年は絶対勝つ!」という決意表明がありました。

クラブ対抗ではスラロームが昨年が続いて優勝。3位入賞を狙いビギナーズクラスやスノーボードにも参加者を組織したシーハイルが僅差で4位となりました。

ジュニアクラスへのエントリー者が増えてきたのもうれしい限りです。この流れで来年の大会を迎えられればと思います。

(東京スキー協 小川 洋)

1年間続いたリーグ戦、優勝はザウルス
「北区野球リーグ」

新日本スポーツ連盟北区の野球リーグ(通称「北区リーグ」)は今年で30周年を迎えます。参加チーム数は増減を繰り返していましたが、ここ数年は10チームで定着しています。各チームともカラーは様々で、実力にも差がありますが、それぞれ真剣に野球に取り組んでおり、試合では常に全力でぶつかり合っています。

対戦方式は年1回の総当り制で、毎月第3火曜日の運営委員会にて翌月の対戦組み合わせを決めています。

野球は北区連盟の他の種目とは異なり、自分たちでリーグ戦グラウンドを確保しなければならず、そこが最も苦勞する部分でもあります。参加チーム数を増やすこと・グラウンドの安定確保が引き続き今後の大きな課題といえます。

(北区リーグ運営委員長 明石 太基)

早春の多摩川をランナーが駆け抜ける!
「第8回多摩川ロードレース大会」

2月14日に国立市から府中市の間の多摩川河川敷で、第8回多摩川ロードレース大会が開催されました。朝は前日の雨の水滴が凍ってしまうほどの寒さでしたが、日差しが出て、ランニング日和となりました。人気上昇中の本大会は前回に引き続き、約1000名の申し込みがありました。

この大会には2km、5km、10kmの3つの部があります。2kmは小学生の部になっていて、5km、10kmに参加する親御さんと一緒に家族で参加されている方も多く見られました。子供たちも親御さんに励まされ、最後まで一生懸命走っていました。

大会の規模が大きくなり、より多くのランナーの要求に応えられるようになったと同時に、役員の仕事も増えているそうです。一般のランナーや自転車とぶつかることのないよう、気が抜けないといえます。大会運営委員長の森さんは「それぞれ忙しい中で、運営に尽力していただいて、ありがたい。みなさんの奮闘によって大会は支えられています。」と大会関係者をねぎらっていました。(編集委員・渡辺)



2kmを一生懸命走る子供たち 全員が完走しました



3月13日、14日に開催される全国連盟総会の議案が発表されました。議案のポイントは下記の通りです。各組織においても積極的に討議を行うことを呼びかけます。

= 全国連盟総会議案のポイント =

多様なスポーツ活動とスポーツ連盟の飛躍的な発展のために

第29回定期全国総会の目標は、国民の多様なスポーツ要求を実現する活動とスポーツ権の確立を目的として活動してきたスポーツ連盟の役割に確信を持ち、創立50周年にむけスポーツ連盟の新たな飛躍の出発点とすることにあります。議案は、この立場からこの2年間の多面的なスポーツ連盟の活動を総括し新たな方針を提起しています。

第1章 28期2年間の総括

*スポーツ活動を広げ定着してきた豊かな実績と経験を正しく評価し、「10万人の連盟づくり」の教訓を明らかにする。

・厳しい暮らしのもとでも、各地・各種目の愛好者の要求に応えた各大会・行事は参加者の増を生み、愛好者の期待と共感を広げてきた。それを基礎に「10万人の連盟」の実現の努力の到達点と課題を明らかにしている。

*ユネスコ体育スポーツ国際憲章30周年記念シンポジウムや東京オリンピック招致問題、反核平和マラソンのとりくみなどを通じて、広くスポーツ関係者の信頼を広げた。

*「スポーツのひろば」のカラー化、普及キャンペーン、ホームページの定期更新など広報の活動は、スポーツ連盟の活動を内外に知らせた。

第2章 スポーツ連盟が輝くスポーツをめぐる状況

*経済危機のスポーツ界への影響とそれを打開する課題と基本方向を明らかにする。

・企業のスポーツからの撤退、国のスポーツ振興策の後退とゆがみが明らかになり、一層切実になっている国民のスポーツ要求実現を目指す、スポーツ関係者の共同の可能性が広がっている。

*IOCのオリンピック kongress、2016年五輪開催地決定、2010年南アフリカW杯などに見る世界のスポーツの流れも視野におき、スポーツ連盟の役割を示す。

*厳しい情勢の中で、連盟の存在価値と真価を発揮する時期を迎えている。

第3章 スポーツ連盟第29期活動方針

*愛好者の期待に応え多様なスポーツ活動の組織化をすすめる

・スポーツ連盟の基礎である、大会・行事をはじめとする愛好者の要求を実現する活動をさらに発展させる。

・「出前大会」を全国的に広げるなど、スポーツ活動の実態に即した柔軟で大胆な「組織化」を進める。そのために「経験と情報の共有」「組織を越えた運動の展開」を重視する。

・課題の具体化と実行性を確かなものとするために、必要なプロジェクトの設置、役員の配置、ブロック活動の拡充、予算措置などをすすめる。

*権利としてのスポーツ実現に道を開く「スポーツ基本法骨子」を作成する

*スポーツ連盟の活動、理念を交流し共有するとともに、内外にスポーツ連盟を知らせる広報活動を一層充実させる

*リーダー養成制度の確立、スポーツ科学研究所設立準備活動をすすめる。国際交流活動の位置づけを高め強化する。

第28回全国祭典・種目紹介

第1回 ～駅伝～

今年第28回全国スポーツ祭典が行われます。8年ぶりの関東での開催を目前に控え、各種目では一体どんな準備が行われているのでしょうか？今月から連載でみなさんにお届けします。第1回目は今回が初めての開催となる「駅伝」です。神奈川県連盟の佐藤静雄さんに駅伝開催に至る経緯や思いを語っていただきました。

●駅伝は本当に楽しい競技

神奈川県で開催されている月例マラソンは湘南、横浜、川崎の3つがあり、合わせて毎月4,000名を超える参加があります。また春には横浜、秋には川崎で駅伝大会を行ってきました。

駅伝大会は、チームとしての団結があって途中で苦しくても力を抜くことができないことから、ランナーが無理をしまいがちです。これがロードレースと駅伝の違いかも知れません。

駅伝大会はその大会の区間の数だけランナーを揃えなければなりません、チームが組めれば、仲間意識が湧いてきて本当に楽しい競技です。

●他団体との共同がきっかけ

昨年川崎で第11回全日本民医連共済組合駅伝大会が開催されましたが、神奈川県RCが全面的に運営に協力し、成功裡に終了しました。この駅伝大会には北は北海道から南は沖縄まで34チームが参加しました。反省会の



中には仮装しながら走るチームも…

席で、民医連の責任者の方から御礼と「今後益々スポーツ連盟と協力し合って種々の行事をやってゆきたいので是非連絡してください」とのことばもいただきました。

このような状況もあって、第28回全国スポーツ祭典が関東地区で開催されることから新たな種目として駅伝大会の開催を提案しました。

ランニングセンターの設立されていない地域連盟は、他の種目の人達とチームを組むのは勿論、協力関係があると連絡を取りあって、チームを組んで参加するのも楽しいのではないのでしょうか？

開催予定：11月31日〔日〕、川崎市幸区古市場～多摩川沿いランニングコース
6区間で42.195km（1区10k、2区5k、3区4k、4区8k、5区6k、6区9.195k）



秋に多摩川（川崎市）行われる河原駅伝の様子。昨年は約120チームの参加がありました。

東京～広島～長崎

平和を願って 1500キロ 被爆65周年反核平和マラソン

東京では今年で15回目を迎える反核平和マラソン。1982年に大阪～京都間で行われたことをきっかけに、現在全国各地で取り組まれています。1995年には被爆半世紀という節目を迎え、第1回目の東京～広島～長崎反核平和マラソンが行われました。さらに10年後、2005年には神奈川県連盟が中心になり2回目の東京～広島～長崎の反核平和マラソンが行われました。

被爆65年の節目に三度目の開催——今年が被爆65周年であり、昨年のオバマ米大統領の「核兵器の廃絶をめざす」という趣旨の発言をうけ、核兵器廃絶の世論が大変盛り上がっていま

す。こうした時期に三度東京～広島～長崎反核平和マラソンを行うことは、核兵器廃絶の世論の喚起につながります。

スポーツマンシップを發揮して——

生物に甚大な危害を与え、当人の子孫まで、被爆の恐怖を与える核兵器はそもそも人類と共存できません。また、一方的に相手の存在を否定（殺害）する核兵器は対戦相手にも尊敬や賞賛を持つことを必要とするスポーツマンシップにも真っ向から反します。平和で核の恐怖に脅かされることなく、スポーツを楽しめる世界を作るためにも、ぜひ一緒に東京～広島～長崎反核平和マラソンを成功させましょう。

※東京区間を走るランナーと、給水等のランナーのサポーターを大募集中です。広島・長崎までの通しのにも挑戦してみませんか？



真夏のマラソンなので、給水等のサポート体制が非常に重要になります。



都連盟評議員会報告

第43期 第1回 1/23
17人中 12人出席(ほか委任2名)

活動報告と方針の要旨

都連盟が広範なスポーツ愛好者の要求をつなぎ合わせて実現していくことは、現代のスポーツ界が直面する課題の解決ともつながること。全国連盟・都連盟が掲げる組織拡大は、多様で魅力あるスポーツ活動が柱となるものであり、これまでの活動に確信を持ちながら新たな活動に挑戦しよう。現勢は9160名と前回総会から微減であり、横ばいの状況を克服するために、多様な活動とそれを支える運営体制の強化に取り組もう。都連盟として、活動推進基金の活用を進めるため各組織でも積極的に活用計画を。

2010年は全国祭典が関東で開催。実行委員会の一員として取り組む。

09年10月には2016年オリンピックがリオデジャネイロで開催されることが決定した。都連盟として他団体と共同してこの問題に取り組んだことにより、広範な都民・国民の間でオリンピック運動についての議論が喚起された。スポーツとオリンピック運動の発展を求める立場から招致に異議をとなえたことは意義があることであった。

その一方で、都のスポーツ振興施策はオリンピック招致を機にむしろ後退している。都の姿勢の根本的な転換(スポーツ振興基本計画の作り直しなど)に取り組む必要がある。2011年に行われる東京都知事選に都連盟として取り組む。国政においても、現政権のスポーツ振興に対する考

え方には「事業仕分け」に見られたように乱暴な議論が持ち込まれる危険性もあり、全国連盟と共同して取り組む。

2010年度をもって都の指定管理者制度の指定期間が満了する。「誰が管理者であっても公共性が保たれること」を基本に取り組む。

5月にはNPT(核不拡散条約)再検討会議が開催される。スポーツを通じた平和の取り組みとして、東京反核平和マラソンと被爆65年の東京～広島～長崎反核平和マラソンに取り組む。

理事会は出席率の向上を重視し、引き続き定期的に開催する。都連盟機関紙「OUR SPORTS東京」は年10回発行を継続し、紙面の充実に取り組むことを通じて都連盟と加盟組織の結びつきを強めることを重視する。専従体制は、井上氏の退職に伴い萩原理事長を専従職員とするとともに、早期に2名体制を回復することとする。

財政は、加盟組織の努力により堅調となっているため、今後の財政のあり方について検討する。

3月に開催される全国連盟総会にむけて都連盟として総会成功に努力する。

決議事項 まとめと方針、活動推進基金の活用ガイドライン、執行事務の定めについて一部修正を含めて確認した。専従職員の就業規定については、次回以降に確認するものとする。

都連盟理事会報告

第11回 2/8
18人中 11人参加

主な議題

◆評議員会報告(評議員会方向参照)

◆全国スポーツ祭典の準備状況について

東京都に対して名義後援と補助金(135万円・前回実績通り)の要請が行われた(本来であれば前年の夏頃に行うべきであった)。都祭典への共済分担金が04年にカットされたが、その際に全国祭典については別個に判断することを都との間に確認している。

◆全国連盟総会準備

代議員登録(12名中8名)、役員推薦、総会分担金の確認等を行った。

- | 経過と予定
- | 1/12 第10回理事会
- | 1/16/17 全国連盟理事会
- | 1/23 第1回評議員会
- | 1/15 「OURSPORTS東京」1・2月号発行
- | 1/30 全国スポーツ祭典実行委員会
- | 2/8 第11回理事会
- | 2/9 関東ブロック会議
- | 2/13/14 全国連盟理事会
- | 2/23 三役会議
- | 2/25 「OURSPORTS東京」3月号発行
- | 2/27 東京サッカー協協会
- | 3/8 第12回理事会
- | 3/13/14 全国連盟総会
- | 3/23 三役会議
- | 3/28 東京水泳協協会

～ 編集後記 ～

今年もあまり寒くなかった冬が終わりに近づき、3月になりましたね。自分も26歳になり、20代も折り返しを過ぎましたが、最近ますます時の流れが速くなってきているように感じます。12月にプロテスト受験したことを節目にボクシングは引退し、最近では自由に使える時間が増えたので、高校時代までやっていた卓球を再開し、自転車(ロードバイク)も始めました。体を動かすことや、試合での駆け引き、緊張感はやはり心地いいものです。

テレビを見ると、バンクーバー五輪が開催されていました。冬期五輪の種目は日本では練習環境が劣悪だという話を聞きました。冬期種目に限らず、都内でも各種スポーツをするには、施設が不足しているなあとこの事を実感するようになりました。また、最近自転車通勤を始めて「自転車専用レーン」を作ってほしいと切に感じます。ぜひ、東京都はオリンピズムの精神でサイクリストにも快適なスポーツ環境を整えてほしいものです。(渡辺)

都連盟スポーツカレンダー 2010年4月、5月

卓球

- ・男子年令別大会・個人戦 4/10(土) 駒沢体育館
- ・第19回関東オープンレディース3D大会
5/12(水) 東京体育館
- ・2010年前期東京卓リーグ 5/1、2、4、5、22
東京体育館、中野体育館、他
- 板橋区**
 - ・板橋オープンペアマッチ卓球大会 4/24(土)
上板橋体育館
 - ・板橋オープンシングルス卓球大会 5/29(土)
小豆沢体育館
- 北区**
 - ・第35回春季プロGRESSリーグ卓球大会
4/3(土) 桐ヶ丘体育館
- 杉並区**
 - ・春季団体戦リーグ 5/23(日) 上井草スポーツセンター
- 中野区**
 - ・中野東京オープン 4/24(土) 中野体育館
- 練馬区**
 - ・第34回春季卓球大会 4/18(日) 上石神井体育館
- 多摩地域**
 - ・多摩ジュニア卓球大会 4/5(月) 泉市民体育館
 - ・第8回ABC=XYZ団体戦卓球大会 4/25(日)
立川・泉市民体育館

陸上

- ・ふれあい赤羽駅伝 4/18(日)
荒川ランニングコース
- ・春季陸上競技大会 5/22(土)
八王子市上柚木公園陸上競技場
- 北区**
 - ・月例赤羽マラソン 4/25、5/23(日)
岩淵堤防土手
- 多摩地域**
 - ・月例多摩川ロードレース 4/11、5/9(日)
多摩川・国立ロードコース

水泳

- ・第18回辰巳水泳大会 5/23(日)
東京辰巳国際水泳場
- 練馬区**
 - ・第42回練馬スポーツ祭典水泳記録会+第9回着衣泳指導員講習会 5/9(日) 光ヶ丘体育館温水プール

スキー

- ・第1回スプリングフリーレッスン
4/17(土)～18(日) 宿泊・丸木屋
- ・月山山スキー教室 4/17(土)～18(日)
宿泊・温泉旅館「ゆきしろ」
- ・至仏山スキー教室 4/24(土)～25(日)
宿泊予定・ピラ風花
- ・鳥海山山スキー教室 5/3(月)～5/5(水)
宿泊予定・ホテルまさか
- ・春の八甲田山・山スキー教室
5/2(日)～5/5(水) 宿泊・猿倉温泉
- ・立山・剣沢山スキー教室 5/21(金)～23(日)
宿泊・雷鳥荘

テニス

- ・多摩春季大会 4/4(日) 都立小金井公園テニスコート
- 北区**
 - ・硬式テニス初心者教室 4/3、10、17、24
5/1(土) 桐ヶ丘体育館コート
 - ・第35回春季硬式テニス混合ダブルス大会
4/25(日) 新河岸コート
 - ・第35回春季硬式テニス団体戦大会
5/3、9(日、土) 桐ヶ丘体育館、新河岸コート
- 杉並区**
 - ・春季ダブルス大会 5/9、23(日) 松ノ木テニスコート
- 練馬区**
 - ・第34回春季テニス大会 4/10、11、18 土支田庭球場
- 中野区**
 - ・もえぎテニス大会 5/16(日) 哲学堂テニスコート

バドミントン

- ・春季高校生オープン・ダブルス大会 4/6(火)
駒沢公園屋内球技場
- ・第6回関東オープン団体戦 4/24(土) 駒沢体育館
- ・東京春季フェスティバル 5/2(日)
荒川スポーツセンター
- 杉並区**
 - ・杉並春季大会 5/30(日) 妙正寺体育館
- 中野区**
 - ・第22回東京中野オープンバドミントン大会
5/9(日) 中野区立体育館
- 練馬区**
 - ・第34回春季バドミントン大会 5/3(祝)
光ヶ丘体育館
- 北区**
 - ・第35回春季バドミントンダブルス大会
5/4(祝) 桐ヶ丘体育館
- 多摩地域**
 - ・第7回多摩春季大会 4/11(日) 泉市民体育館

サッカー

- ・第31回春季トーナメント大会 2/28(日)～
4月下旬 駒沢公園他
- 北区**
 - ・第35回春季フットサル大会 4/4(日)
浮間子供スポーツ広場サッカー場

バレーボール

- 北区**
 - ・第35回春季バレーボール大会 4/4、5/2(日)
滝野川体育館、桐ヶ丘体育館
 - ・第35回春季ミックスバレーボール大会予選1部
5/16(日) 旧西浮小体育館、堀船小体育館
 - ・第35回春季シニアバレーボール大会
5/30(日) 桐ヶ丘体育館
- 板橋区**
 - ・板橋レディースバレーボールオープンリーグ大会
4/4、25 5/9、16(日) 赤塚体育館他
- 杉並区**
 - ・杉並春季大会 5/23(日) 上井草スポーツセンター

バスケットボール

- 北区**
 - ・第35回春季バスケットボール大会
5/3、16(祝、日) 桐ヶ丘体育館、十条台小体育館
- 杉並区**
 - ・杉並バスケットリーグ 5/2、23(日)
中央区スポーツセンター 永福スポーツセンター

野球

- 北区**
 - ・北区連盟リーグ戦 4/4、18 5/2、16、30(日)
中央公園野球場、又は新荒川大橋野球場
- 板橋区**
 - ・野球大会 2/14、21、28 3/7、14、21、28(日)
戸田橋野球場、小豆沢野球場

ソフトボール

- ・第7回東京春季ソフトボール大会
3/21 4/4(日) 駒沢公園軟式野球場
- 北区**
 - ・第35回春季ソフトボール大会 5/30(日)
中央公園野球場

ウォーキング

- ・4月度例会(東京フェスティバル) 4/18(日)
五街道から日本橋(交番前)へ集合
- ・4月度オプション「勝沼桃の花畑へ」 4/11(日)
参加申込者には集合場所などをお知らせします
- ・隅田川橋めぐり Part-2 4/22(木)
都営浅草線 浅草駅切符売り場集合
- ・5月度例会 5/15(土) 京王相模原線唐木田駅

その他の種目

- 北区**
 - ・第35回春季ハイキング 5/23(日) 場所未定

機関紙・会報いただきました!

- ・「スポーツおおさか」2月号
大阪府連盟
- ・「SportsNet ちば」No. 94
千葉県連盟
- ・「月刊かながわスポーツ」2月号
神奈川県連盟
- ・「スポーツ文化」1月号 宮城県連盟
- ・「スポーツなかま inTOYAMA」2月号
富山県連盟
- ・「スキー協通信」3月号
東京スキー協
- ・「シーハイル」2月号
シーハイルスキークラブ